

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 スクウェア・エニックス・ホールディングス

コード番号 9684 URL <http://www.square-enix.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 和田 洋一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 松田 洋祐

TEL 03-5333-1144

四半期報告書提出予定日 平成21年11月11日

配当支払開始予定日

平成21年12月4日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	90,561	33.2	13,091	39.3	12,181	25.5	2,683	△55.7
21年3月期第2四半期	67,974	—	9,396	—	9,704	—	6,054	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	23.32	23.32
21年3月期第2四半期	52.71	52.53

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	242,934	148,558	60.6	1,279.10
21年3月期	213,194	148,724	69.1	1,280.92

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 147,191百万円 21年3月期 147,318百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	10.00	—	20.00	30.00
22年3月期	—	10.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	20.00	30.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	180,000	32.7	25,000	103.6	25,000	122.0	10,000	57.9	86.90

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
新規 1社 (社名 Eidos LTD.) 除外 1社 (社名)
(注)詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	115,370,596株	21年3月期	115,305,996株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	296,331株	21年3月期	295,813株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	115,042,363株	21年3月期第2四半期	114,873,258株

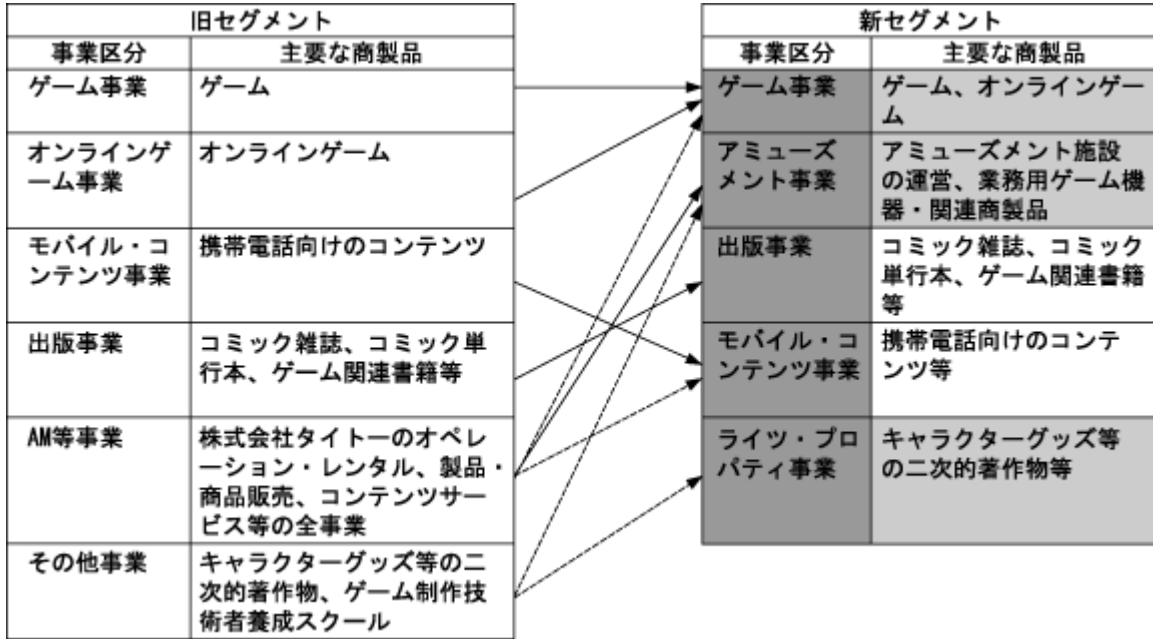
※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想につきましては、本資料発表時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績は予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】「3.連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループは、これまで事業の種類別セグメントをゲーム事業、オンラインゲーム事業、モバイル・コンテンツ事業、出版事業、AM等事業及びその他事業と定め、昨年10月に発足した持株会社体制の下、各々の事業セグメントにおいて事業基盤の強化と収益力の向上に努めてまいりました。かかる組織体制や事業基盤の整備・強化を踏まえ、当第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日～平成21年9月30日)より、事業の種類別セグメントを以下の通り変更することといたしました。



当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は90,561百万円(前年同期比33.2%増)、営業利益は13,091百万円(前年同期比39.3%増)、経常利益は12,181百万円(前年同期比25.5%増)、四半期純利益は2,683百万円(前年同期比55.7%減)となりました。

当第2四半期連結累計期間の事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

○ゲーム事業

主としてゲームコンソール(携帯ゲーム機含む)、PCを対象としたゲーム及びオンラインゲームの企画、開発、販売及び運営を行っております。また、英国Eidos社の連結子会社化によって生じたのれんの償却費も当セグメントに計上しております。

当第2四半期連結累計期間は、「ドラゴンクエストIX 星空の守り人」、「Batman: Arkham Asylum」、「キングダムハーツ 358/2 Days」等の有力タイトルを販売し、好調に推移いたしました。

当事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は48,444百万円(前年同期比117.5%増)となり、営業利益は10,365百万円(前年同期比63.5%増)となりました。

○アミューズメント事業

主としてアミューズメント施設の運営、並びにアミューズメント施設向けの業務用ゲーム機器・関連商製品の企画、開発及び販売を行っております。また、当第2四半期連結累計期間より、株式会社スクウェア・エニックスにおける業務用ゲーム機器の企画、開発及び運営も当セグメントに計上しております。さらに、株式会社タイトーの連結子会社化によって生じたのれんの償却費も当セグメントに計上しております。

当第2四半期連結累計期間は、業務用ゲーム機器では、「ドラゴンクエスト モンスターバトルロードII」が健闘したものの、引き続き厳しい外部環境の中、アミューズメント施設運営は、低調に推移いたしました。

当事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は25,853百万円(前年同期比20.5%減)となり、営業利益は1,106百万円(前年同期比58.4%減)となりました。

○出版事業

定期刊行誌、各定期刊行誌で連載されているコミックの単行本、ゲームガイドブック等の出版を行っております。

当第2四半期連結累計期間は、人気作品のテレビアニメ化の効果により、コミック単行本の販売が引き続き伸長したことに加え、ゲーム事業で発売した大型タイトルのゲームガイドブックも寄与し、好調に推移いたしました。

当事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は7,875百万円(前年同期比27.4%増)となり、営業利益は2,335百万円(前年同期比34.5%増)となりました。

○モバイル・コンテンツ事業

携帯電話向けコンテンツの企画、開発及び運営を行っており、着信メロディ、待受画面、ゲーム、ポータルサービスなど様々なモバイル・コンテンツサービスを提供しております。当第2四半期連結累計期間より、株式会社タイトーにおける携帯電話向けコンテンツの企画、開発及び運営も当セグメントに計上しております。

当第2四半期連結累計期間は、「ドラゴンクエスト」、「ファイナルファンタジー」のポータルサービス等を中心にオリジナルコンテンツの強みを生かした取り組みを継続強化し、順調に推移いたしました。

当事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は5,179百万円(前年同期比3.2%減)となり、営業利益は2,169百万円(前年同期比9.2%増)となりました。

○ライツ・プロパティ事業

主として当社グループのコンテンツに関する二次的著作物の企画・制作・販売及びライセンス使用を行っております。

当第2四半期連結累計期間は、4月に発売した映像作品「FINAL FANTASY VII ADVENT CHILDREN COMPLETE」が当事業の収益に貢献しております。

当事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は3,211百万円(前年同期比90.0%増)となり、営業利益は1,387百万円(前年同期比662.6%増)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末(平成21年9月30日)は、流動資産170,413百万円(前連結会計年度末比7.6%増)、固定資産72,521百万円(前連結会計年度末比32.3%増)、流動負債51,428百万円(前連結会計年度末比119.1%増)、固定負債42,946百万円(前連結会計年度末比4.8%増)、純資産148,558百万円(前連結会計年度末比0.1%減)となりました。

固定資産及び流動負債の主な変動要因は、Eidos社を連結子会社としたことによるものであります。また、純資産の主な変動要因は、四半期純利益による増加と為替換算調整勘定及び剰余金配当による減少であります。

○連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の期末残高は96,455百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益が7,993百万円(前年同四半期比1,574百万円の減少)に加えて、減価償却費3,657百万円(前年同四半期比385百万円の増加)、売上債権の増減額△13,015百万円(前年同四半期比13,808百万円の減少)、たな卸資産の増減額△1,269百万円(前年同四半期比2,790百万円の増加)、仕入債務の増減額1,209百万円(前年同四半期比1,564百万円の増加)、法人税等の支払3,539百万円(前年同四半期比2,263百万円の減少)等により、営業活動により獲得した現金及び現金同等物は、4,132百万円(前年同四半期比2,345百万円の減少)となりました。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により支出した現金及び現金同等物は、16,871百万円(前年同四半期比11,810百万円の減少)となりました。主要因としては連結の範囲の変更に伴う子会社株式の取得による支出12,478百万円であります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により支出した現金及び現金同等物は、2,140百万円(前年同四半期比191百万円の減少)となりました。主要因としては短期借入による収入額3,037百万円、配当金の支払額2,293百万円(前年同四半期比13百万円の増加)及び長期借入金の返済による支出3,021百万円であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く事業環境は、一般家庭へのブロードバンドの普及やゲームコンソールの多様化によるユーザー層の拡大により、新しい事業環境への移行期を迎えております。当社グループは、このような環境変化を新たな収益を獲得するチャンスと捉え、安定した収益基盤を確立しているネットワーク関連分野の事業推進を含め、より多くのユーザーの方々に当社グループのコンテンツの魅力に触れて頂けるよう努めてまいります。

平成22年3月期の業績予想につきましては、平成21年10月29日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、連結業績予想の作成に使用した主要為替レート的前提は、1ドル=90円、1ユーロ=120円であります。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社 (Eidos LTD.)

新規の連結は、新たにEidos LTD.の株式を取得し、連結子会社としたことによります。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

表示方法の変更

- ① 前第2四半期連結累計期間において、特別利益の「その他」に含めておりました「固定資産売却益」は、特別利益総額の100分の20を超えたため、当第2四半期連結累計期間では区分掲記することといたしました。なお、前第2四半期連結累計期間の特別利益に含まれる「固定資産売却益」は4百万円であります。
- ② 前第2四半期連結累計期間において、投資活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めておりました「定期預金の預入による支出」は、重要性が増したため、当第2四半期連結累計期間では区分掲記することといたしました。なお、前第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローに含まれる「定期預金の預入による支出」は△0百万円であります。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	97,933	111,981
受取手形及び売掛金	29,300	15,432
商品及び製品	3,359	4,917
仕掛品	321	291
原材料及び貯蔵品	535	581
コンテンツ制作勘定	25,861	18,392
その他	13,479	7,061
貸倒引当金	△378	△270
流動資産合計	170,413	158,387
固定資産		
有形固定資産	19,906	19,082
無形固定資産		
のれん	23,466	17,771
その他	12,025	925
無形固定資産合計	35,492	18,697
投資その他の資産	17,121	17,027
固定資産合計	72,521	54,806
資産合計	242,934	213,194

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,931	10,097
短期借入金	2,908	26
未払法人税等	12,117	3,239
賞与引当金	1,250	1,413
返品調整引当金	4,501	1,598
店舗閉鎖損失引当金	344	445
その他	17,376	6,656
流動負債合計	51,428	23,477
固定負債		
社債	37,000	37,000
退職給付引当金	2,014	1,644
役員退職慰労引当金	242	236
店舗閉鎖損失引当金	683	721
その他	3,006	1,390
固定負債合計	42,946	40,992
負債合計	94,375	64,469
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,204	15,134
資本剰余金	44,445	44,375
利益剰余金	93,162	93,220
自己株式	△853	△852
株主資本合計	151,958	151,879
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△36	△71
為替換算調整勘定	△4,729	△4,488
評価・換算差額等合計	△4,766	△4,560
新株予約権	541	410
少数株主持分	825	995
純資産合計	148,558	148,724
負債純資産合計	242,934	213,194

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	67,974	90,561
売上原価	37,175	49,650
売上総利益	30,798	40,910
返品調整引当金戻入額	1,135	4,863
返品調整引当金繰入額	1,240	4,501
差引売上総利益	30,694	41,272
販売費及び一般管理費	21,298	28,181
営業利益	9,396	13,091
営業外収益		
受取利息	469	99
受取配当金	11	13
負ののれん償却額	—	45
雑収入	122	103
営業外収益合計	603	261
営業外費用		
支払利息	2	7
為替差損	265	1,065
持分法による投資損失	20	47
支払手数料	—	36
雑損失	7	12
営業外費用合計	295	1,170
経常利益	9,704	12,181
特別利益		
固定資産売却益	—	32
貸倒引当金戻入額	136	40
訴訟関連債務戻入益	159	—
その他	8	2
特別利益合計	304	75
特別損失		
固定資産除却損	338	107
投資有価証券売却損	20	—
割増退職金	—	2,012
事業再編損	—	1,171
事業買収関連費用	—	825
その他	89	140
特別損失合計	448	4,258
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益	9,560	7,998
匿名組合損益分配額	△8	5
税金等調整前四半期純利益	9,568	7,993
法人税、住民税及び事業税	2,318	5,871
過年度法人税等	—	911
法人税等調整額	1,204	△1,475
法人税等合計	3,523	5,307
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△9	3
四半期純利益	6,054	2,683

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,568	7,993
減価償却費	3,272	3,657
のれん償却額	557	823
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△261	△345
賞与引当金の増減額(△は減少)	△311	△163
返品調整引当金の増減額(△は減少)	138	△111
退職給付引当金の増減額(△は減少)	35	370
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	12	6
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△54	△138
受取利息及び受取配当金	△480	△112
支払利息	2	7
為替差損益(△は益)	197	1,211
持分法による投資損益(△は益)	20	47
固定資産除却損	338	107
売上債権の増減額(△は増加)	793	△13,015
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,060	△1,269
仕入債務の増減額(△は減少)	△355	1,209
その他	△2,162	7,275
小計	7,251	7,554
利息及び配当金の受取額	503	124
利息の支払額	△2	△7
法人税等の支払額	△1,275	△3,539
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,477	4,132
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,135	△3,089
有形固定資産の売却による収入	22	142
無形固定資産の取得による支出	△78	△183
投資有価証券の取得による支出	△120	—
投資有価証券の売却による収入	2	7
差入保証金の差入による支出	△127	△250
差入保証金の回収による収入	621	490
定期預金の預入による支出	—	△1,518
定期預金の払戻による収入	—	106
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△12,478
貸付けによる支出	△230	△5
貸付金の回収による収入	79	37
その他	△94	△130
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,060	△16,871

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	3,037
長期借入金の返済による支出	—	△3,021
株式の発行による収入	368	139
自己株式の取得による支出	△9	△1
配当金の支払額	△2,307	△2,293
少数株主への配当金の支払額	△2	—
その他	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,948	△2,140
現金及び現金同等物に係る換算差額	△176	△110
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△708	△14,990
現金及び現金同等物の期首残高	111,479	111,875
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	65
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△66	△495
現金及び現金同等物の四半期末残高	110,704	96,455

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	ゲーム事業 (百万円)	オンラインゲーム事業 (百万円)	モバイル・コンテンツ事業 (百万円)	出版事業 (百万円)	AM等事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	16,622	5,321	3,317	6,180	29,423	7,108	67,974	—	67,974
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	17	10	—	761	119	908	△908	—
計	16,622	5,339	3,328	6,180	30,184	7,227	68,883	△908	67,974
営業利益	3,477	2,981	1,700	1,735	81	2,085	12,061	△2,665	9,396

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品または商品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品又は商品

事業区分	主要製品又は商品
ゲーム事業	ゲーム
オンラインゲーム事業	オンラインゲーム
モバイル・コンテンツ事業	携帯電話向けのコンテンツ
出版事業	コミック雑誌、コミック単行本、ゲーム関連書籍等
AM等事業	株式会社タイトーのオペレーション・レンタル、製品・商品販売、コンテンツサービス等の全事業
その他事業	キャラクターグッズ等の二次的著作物、ゲーム制作技術者養成スクール

3. 会計処理の方法の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用しております。この変更に伴い、従来の方によった場合に比べて、当第2四半期累計期間の営業利益が、「ゲーム」で2百万円、「オンラインゲーム」で24百万円、「AM等」で380百万円減少しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	ゲーム事業 (百万円)	アミューズメント事業 (百万円)	出版事業 (百万円)	モバイル・コンテンツ事業 (百万円)	ライツ・プロパティ事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	48,442	25,853	7,875	5,179	3,210	90,561	—	90,561
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1	—	—	0	1	2	△2	—
計	48,444	25,853	7,875	5,179	3,211	90,563	△2	90,561
営業利益	10,365	1,106	2,335	2,169	1,387	17,364	△4,273	13,091

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品または商品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品又は商品

事業区分	主要製品又は商品
ゲーム事業	ゲーム、オンラインゲーム
アミューズメント事業	アミューズメント施設の運営、業務用ゲーム機器・関連商製品
出版事業	コミック雑誌、コミック単行本、ゲーム関連書籍等
モバイル・コンテンツ事業	携帯電話向けのコンテンツ等
ライツ・プロパティ事業	キャラクターグッズ等の二次的著作物等

3. 当社グループは、これまで事業の種類別セグメントを「ゲーム事業」、「オンラインゲーム事業」、「モバイル・コンテンツ事業」、「出版事業」、「AM等事業」及び「その他事業」と定め、昨年10月に発足した持株会社体制の下、各々の事業セグメントにおいて事業基盤の強化と収益力の向上に努めてまいりました。かかる組織体制や事業基盤の整備・強化を踏まえ、当第2四半期連結累計期間より、「ゲーム事業」、「アミューズメント事業」、「出版事業」、「モバイル・コンテンツ事業」、「ライセンス・プロパティ事業」に変更しております。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報を、当第2四半期連結累計期間において用いた事業区分の方法により区分すると次のようになります。

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	ゲーム事業 (百万円)	アミューズメント事業 (百万円)	出版事業 (百万円)	モバイル・コンテンツ事業 (百万円)	ライセンス・プロパティ事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	22,267	32,501	6,180	5,334	1,690	67,974	—	67,974
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	4	—	—	15	—	19	△19	—
計	22,271	32,501	6,180	5,349	1,690	67,993	△19	67,974
営業利益	6,338	2,662	1,735	1,987	181	12,905	△3,508	9,396

4. 営業費用の配賦方法の変更

従来、(株)タイトーの管理部門に係る費用の全額をAM等事業に含めておりましたが、第1四半期連結会計期間より、消去または全社の項目に含めております。この変更は、第1四半期連結会計期間から事業区分の変更に伴い、各セグメントにおいて管理すべき費用をより明確にするために行ったものです。なお、(株)タイトーの管理部門に係る営業費用は以下の通りであります。

当第2四半期連結累計期間 1,071百万円

前第2四半期連結累計期間 843百万円

5. 第1四半期連結会計期間において、当社がEidos LTD.の株式を取得したことにより、ゲーム事業における資産の金額が37,985百万円増加しております。

b. 所在地別セグメント情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	56,828	6,625	4,302	218	67,974	—	67,974
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3,150	98	152	—	3,401	△3,401	—
計	59,979	6,723	4,454	218	71,376	△3,401	67,974
営業利益又は 営業損失(△)	6,820	1,860	776	△62	9,393	2	9,396

- (注) 1. 国または地域は、地理的近接度により区分しております。
 2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。
 (1) 北米……アメリカ
 (2) 欧州……イギリス
 (3) アジア……中国、韓国
 3. 会計処理の方法の変更
 (棚卸資産の評価に関する会計基準)
 第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益が、「日本」で406百万円減少しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	69,461	10,897	10,035	165	90,561	—	90,561
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,188	1,266	3,654	40	7,150	△7,150	—
計	71,650	12,164	13,690	206	97,711	△7,150	90,561
営業利益又は 営業損失(△)	13,018	△118	168	9	13,077	13	13,091

- (注) 1. 国または地域は、地理的近接度により区分しております。
 2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。
 (1) 北米……アメリカ、カナダ
 (2) 欧州……イギリス、フランス、ドイツ他
 (3) アジア……中国、韓国
 3. 第1四半期連結会計期間において、Eidos LTD.の株式を取得したことに伴い、北米の区分にはカナダ、欧州の区分には、フランス、ドイツ他が加わっております。

c. 海外売上高

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	北米	欧州	アジア	計
I 海外売上高(百万円)	7,012	4,488	458	11,958
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	67,974
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	10.3	6.6	0.7	17.6

- (注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。
 2. 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。
 (1) 北米……アメリカ、カナダ
 (2) 欧州……イギリス、フランス、ドイツ他
 (3) アジア……中国、韓国、台湾他
 3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	北米	欧州	アジア	計
I 海外売上高(百万円)	11,319	10,159	737	22,215
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	90,561
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	12.5	11.2	0.8	24.5

- (注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。
 2. 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。
 (1) 北米……アメリカ、カナダ
 (2) 欧州……イギリス、フランス、ドイツ他
 (3) アジア……中国、韓国、台湾他
 3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。